

会 議 の 要 旨

会議の名称	第7回川越市介護保険事業計画等推進委員会
開催日時	平成23年7月26日(火) 午後1時30分 開会 ・ 午後3時 閉会
開催場所	川越市保健所 大会議室
議長氏名	委員長 小原 康史
出席委員氏名	荻野副委員長、桐野委員、山木委員、関口委員、倉嶋委員、若海委員、川口委員、小野寺委員、中山委員、長峰委員、大野委員、芝波田委員、木村委員、米原委員、中村委員、愛川委員、長田委員、小林委員
欠席委員氏名	高橋委員、高田委員
事務局職員氏名	小川福祉部長 高齢者いきがい課：岡村課長、石川副課長、内田主幹、佐藤主幹、関根主任 健康づくり支援課：佐藤課長、佐藤主任 介護保険課：関根参事、刀根主査、吉田主査、佐藤主査、下山主任 (金田主任、野原主任、正田主事補)
会議次第	1 委嘱書の交付 2 開会 3 あいさつ 4 報告事項 5 議事 6 事務連絡 7 閉会
配布資料	1 次第 2 委員名簿 3 第6回川越市介護保険事業計画等推進委員会会議の要旨・・・(資料1) 4 川越市高齢者等実態調査について・・・(資料2) 5 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)入所待機者調査について・・・(資料3) 6 計画値と実績値の比較について・・・(資料4) 7 川越市の人口推計・・・(資料5) 8 委員会及び分科会要綱・・・(資料6) 9 高齢者数、要介護等認定者数、サービス利用者数の推移・・・(参考資料1) 10 介護サービス種類別給付状況(決算額)の推移・・・(参考資料2) 11 福祉サービス等の状況・・・(参考資料3) 12 保健サービス等の状況・・・(参考資料4)

議 事 の 経 過

1 委嘱書の交付

2 開会

事務局による開会のあいさつ。

3 あいさつ

小原委員長

4 報告事項

(1) 第6回川越市介護保険事業計画等推進委員会について

事務局より、資料1「第6回川越市介護保険事業計画等推進委員会会議の要旨」を用いて、第6回川越市介護保険事業計画等推進委員会の開催内容について報告。

(2) 高齢者等実態調査について

事務局より、資料2「川越市高齢者等実態調査について」を用いて、調査の概要について報告。

(3) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の待機者について

事務局より、資料3「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）入所待機者調査について」を用いて説明。

- ・待機者は年々増えているが、今後どのくらいになるのかの予測、見通しはあるか。
予測等については、今のところ作成していない。
- ・待機者を少なくできるような施設整備計画を作れるように、参考として予想数値を出した方が良い。
検討する。
- ・他の自治体では、先に申し込んでおこうという人もいると思うが、本市では、そのあたりはいかがか。
要介護1、2の方も申し込んでおり、中にはいると思う
- ・待機者は、長い方でどのくらい待っているか。
手元に資料がないので、次回御用意する。
- ・待機者が、どんな家族構成で、どういう生活をしているのか把握しているか。
この調査は、各施設から待機者の名簿を提出してもらい、それを基に作成しており、各個人の生活等は把握していません。
- ・今回のアンケートでは聞いていないのか。
実態調査では、施設入所についての設問があるが、無記名式のため、回答者が実際の待機者だと判断できない。
- ・男性に比べ女性の方が多くなっているが、今でもそうなのか。
今までの統計でも、女性が多くなっている。
- ・「年齢別」で100歳以上が9名いるが、年齢で優先があるのか、また、川越市には100歳以上は何人いるのか。
昨年の段階で、70人くらいで、増加傾向にあると思う。

- ・待機者で、亡くなった方はどのくらいいるか。
現段階では把握していない。
- ・誰が申請したのか、暮らしはどうかを把握し、分科会で議論する必要がある
それらを含め、状況を調査していきたいと思う。
- ・参考として、優先入所の指針や採点システム等を提示すると良いのではないか。また、待機者の状況としては、上位50ケースの中で8～10ケースは要介護5などかなり重い人だが、まだ在宅で頑張っているが、とりあえず申し込んでおくという方がいる。もし困ったら、見てもらえるからと支えになっている。また、入所経路としては、自宅から直接というケースはそんなに多くなく、老健や介護療養型、一般病床である病院等から入所する経路のほうが多いという状況はある。
- ・複数の施設に申込みはできるか。
- ・申込み段階では複数のケースはあると思う。
今回の調査では、各施設から待機者の名簿をいただき、重複者を除いている。

(4) 高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画の進捗状況について

事務局より、資料4を用いて計画の進捗状況について説明。

- ・認定基準の一部改正とは、どのような変更か。また、実績と計画の比較で、分母の数字の大小によって、同じ割合でも実際の数値に差異が出ると思うがいかがか。

改正については、次回資料を用意する。また、後者については、計画値に対する実績値の割合だと、1.0などの数値が出やすいが、例えば21年度と22年度を比較する方法などもあるので、そのあたりを注意しながら、分科会では資料提示したい。

- ・資料5ページの施設福祉サービスは、平成23年度からの数値になっているのはなぜか。

これは、年度ごとでなく21～23年度の3年間の数値なので、23年の計画値と22年度実績値を載せている。

- ・養護老人ホーム利用者は75人だが、定員は何人か。

定員は100名。基本的に2人一部屋だが、一人部屋が良いという方もいて、まるっきり空いているというわけではない。待機といかないまでもニーズはある。

- ・DVなどのある社会情勢の中で、定員に満たないというのは課題と思う。ニーズがあるにもかかわらず、事業が赤字になることは、社会資源としては非常に損失を被るので、どうかということで参考に質問した。

- ・4ページの普及啓発事業の実績値21年と22年を比べ、1割程度落ちている理由は。

いまだ普及していないのが、現状だと思う。

5 議事

(1) 川越市の人口推計について

事務局より、資料5「川越市の人口推計」を用いて説明した。

- ・事務局案について承認してよいか。

(一同承認)

(2) 分科会委員の選定について

事務局より、資料6、分科会所属名簿を用いて説明した。

- ・分科会は何回くらい開催予定か。
8月上旬と下旬、9月に開催したいと思う。
- ・事務局案について承認してよいか。
(一同承認)

- ・それぞれに分かれて会長を決めてください。
介護保険事業分科会 会長：小原委員長
高齢者保健福祉分科会 会長：荻野副委員長
副会長は次回分科会で選出する。

(3) その他

(特になし)

6 事務連絡

分科会開催については、別途通知します。

7 閉会